

益田市自転車活用推進計画 施策進捗管理表

【実施期間】短期：計画期間（5年）内に実施を完了する施策 長期：計画期間をこえて長期的に取り組む施策

【進捗評価】A:順調に進捗（ほぼ計画通り） B:少し進捗 C:進捗なし

基本方針	施策の方向性	重点施策	通商	施策	実施期間	担当課 ※数値が把握できる課	目標指標達成のための根拠事業	取組内容	計画作成時値 【令和元年度】	目標値【令和6年度】	令和2年度		令和3年度		評価の理由	今後の対応等	
											実績値	進捗評価	実績値	進捗評価			
I 自転車 を 快 適 に 利 用 す る こ と が で き る	1_自転車通行空間等の整備	○	1	自転車ネットワーク計画の策定の検討	長期	土木課	益田市自転車ネットワーク計画の策定完了	計画策定費のR4年度予算確保への取り組み	-	益田市自転車ネットワーク計画が制定されている	-	C	新年度予算要求済	A	予算要求を実施	令和4年度策定予定	
			2	自転車通行空間の効果的かつ効率的な整備の推進	長期	土木課	益田市自転車ネットワーク計画に基づくハード整備の完了	-	益田市自転車ネットワーク計画に基づくハード整備への着手が10%を超えている	-	C	-	C	-	-	ハード整備事業費の確保	
	2_公共駐輪施設の利便性の向上	3	公共駐輪施設の拡充と利用方法の周知、利用環境の向上	長期	都市整備課	-	-	-	-	-	未定	-	C	-	C	現時点で具体的な取組内容について調整中	現時点で具体的な取組内容について調整中
	3_公共交通との連携	4	地域や利用者ニーズに応じた公共交通との連携検討	長期	連携のまちづくり推進課	-	-	サイクルトレインやサイクルアシストの導入等の検討	-	-	-	-	C	-	C	実績なし	公共交通事業者や関係機関との連携
	4_自転車通勤の促進	○	5	自転車通勤・業務上の自転車利用等の促進、情報提供	長期	人事課	通勤届	市内での毎月8日のマイサイクルデーの呼びかけを実施し、行政職員による実施モデルを展開	34人	44人	39人	A	41人	A	増加しているため	継続したマイサイクルデーの呼びかけ	
			6	(仮称)自転車通勤促進宣言企業の創設の検討	短期	観光交流課	-	-	取組みなし	-	(仮称)自転車通勤促進宣言企業の創設の検討する	-	C	-	C	実績なし	(仮称)自転車通勤促進宣言企業の創設の検討する
	5_自転車の活用促進における市民意識の定着	○	7	マイサイクルデー、市民意識の把握・評価方法の導入	短期	観光交流課	通勤届	市内での毎月8日のマイサイクルデーの呼びかけを実施し、行政職員による実施モデルを展開	34人	44人	39人	A	41人	A	増加しているため	継続したマイサイクルデーの呼びかけ	
			8	環境美化活動の推進	長期	環境衛生課	-	-	ボランティア活動により排出された草等の回収	45,670kg	回収の要望には全て対応(42,000~46,000kg)	38,860kg	A	39,550kg	A	コロナ禍による活動中止のため、例年よりは1~2割程度の減となったが、ほぼ計画通りである。	回収の要望には全て対応
	6_レンタサイクルによるまち乗りの推進【重点施策】	9	市民や来訪者の手軽な交通手段としてレンタサイクルのPR・利便性の向上	長期	観光交流課	サイクリストおもてなし事業	レンタサイクルを益田市観光協会に設置	レンタサイクル利用者数597人	レンタサイクル利用者数600人	レンタサイクル利用者数346人	C	集計中	-	新型コロナウイルス感染拡大による利用者減	継続したレンタサイクルの広報		
	7_自転車利用促進に向けた広報啓発【重点施策】	10	自転車利用を含めた総合的な広報啓発の推進	長期	観光交流課	-	-	自転車利用促進に向けた広報啓発の実施	観光協会HPでの広報	多方面への新たな広報啓発を検討	観光協会HPでの広報	C	市HPリニューアルに伴い、観光特設サイトでのレンタサイクルPR、自転車関連の取り組みページでのPRを実施	B	自転車利用促進に向けた広報啓発を実施	各サイト等でのPRを充実させるとともに、多方面への新たな広報啓発を検討	
II 自転車 を 活 用 し た 健 康 で 心 豊 か な ラ イ フ ス タ イ ル へ の 貢 与	8_誰もが安心かつ気軽に楽しめるサイクリング環境の整備	○	11	高津川河川管理道等の利活用による新たなサイクリングコースの検討・環境整備	短期	観光交流課(都市整備課)	益田市高津川かわまちづくり協議会	国土交通省の「かわまちづくり支援制度」活用のための計画策定	協議会設置検討	計画の認定及び整備事業開始	協議会開催4回	A	協議会開催3回	A	全7回の協議会を開催し、意見交換を実施	令和4年度申請予定	
	9_自転車に親しむ機会の創出	○	12	誰でも気軽に参加できる市民向けサイクルイベントの開催	長期	観光交流課	自転車活用推進事業	市民向けサイクリングイベントの開催	5回	8回	1回	C	2回	C	コロナ禍によるイベント中止	コロナ収束次第、イベント実施予定	
			13	初心者から参加できる自転車教室の開催	短期	危機管理課	交通安全子供自転車島根県大会	小学生に自転車等の交通安全ルールとマナーを身に付けさせる	1校	6校(累計)	イベント中止	C	イベント中止	C	コロナ禍によるイベント中止	コロナ収束次第、イベント実施予定	
			14	自転車による健康教室の開催	短期	健康増進課	自転車による健康運動教室事業	自転車と健康の効果学び実践する健康教室開催の検討	0回	2回	0回	C	0回	C	自転車に関する専門知識や指導スキルが必要であり、自転車に特化した内容を現行の健康教室に組み入れるのは難しい。	自転車専門のインストラクター等の人材が必要であるが、原課での対応は難しい。自転車を含め、運動に関する普及啓発活動は継続実施。	
	[再掲]4_自転車通勤の促進	[再掲]5_自転車通勤・業務上の自転車利用等の促進、情報提供	長期	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
[再掲]6_(仮称)自転車通勤促進宣言企業の創設の検討		短期	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	15	サイクリングコースの案内サインの設置	短期	観光交流課	サイクリストおもてなし事業	企業版ふるさと納税を活用したサイクリスト用の道路案内サインの設置	平成29年に開催された第87回全日本自転車競技選手権大会ロード・レースのコース「2018全日本コース」への案内サインを設置	益田市が誇る100km走っても信号で止まる回数が増える「100ZERO」コースへの案内サインの設置	A	「100ZERO」コース上で令和2年度事業の不足ヶ所への案内サインを設置	A	目標としていた「100ZERO」コースへの案内サイン設置が完了	A	目標としていた「100ZERO」コースへの案内サイン設置が完了	今後は設置した案内サインの維持管理及びサイクリングコースの広報を実施		
	16	サイクリングコース沿線の立ち寄りスポットの整備	長期	観光交流課	サイクリストおもてなし事業	益田市サイクリストサポート企業	81事業所	96事業所	104事業所	A	111事業所	A	新規登録事業所3/年を目標としていたが、目標値以上に新規登録増	継続してHP等で登録の呼びかけを実施			

益田市自転車活用推進計画 施策進捗管理表

【実施期間】短期：計画期間（5年）内に実施を完了する施策 長期：計画期間をこえて長期的に取り組む施策

【進捗評価】A:順調に進捗（ほぼ計画通り） B:少し進捗 C:進捗なし

基本方針	施策の方向性	重点施策	通商	施策	実施期間	担当課 ※数値が把握できる課	目標指標達成のための根拠事業	取組内容	計画作成時値 【令和元年度】	目標値【令和6年度】	令和2年度		令和3年度		評価の理由	今後の対応等
											実績値	進捗評価	実績値	進捗評価		
市民Ⅲと交流できる威力ある地域を地域づくり	10_サイクリングコースの整備		17	県や他市町との連携による広域サイクリングルートの検討	長期	観光交流課	サイクリストおもてなし事業	県や他市町との連携による広域サイクリングルートの検討	—	まずは既存の広域サイクリングルートを県や他市町との連携し広報する	・都市圏在住者対象のオンラインサイクリングイベントの実施（高津川都市交流協議会/益田、吉賀、津和野の3市町連携事業） ・高津川流域の体験旅（飛行機輸送）情報発信のため、サイクリストのインフルエンサーである「おおやようこ」氏による現地ロケの実施。SNS、Youtube等で情報発信（高津川都市交流協議会/益田、吉賀、津和野の3市町連携事業） ・Youtuber「けんたさん」による益田～津和野コースの情報発信（秋・石見空港利用促進協議会）	A	・Youtuber「けんたさん」によるIWA-IWAライドコースの情報発信（秋・石見空港利用促進協議会） ※岩国空港イン→萩・石見空港アウトのサイクリングコース	A	広域市町との連携により、コロナ禍でも実施可能な形のPRを実施	広域連携、首都圏・関西圏へのPRを継続実施し、「自転車のまち益田」の認知度向上を図る
	11_サイクリストの受け入れ体制の整備	○	18	サイクリストサポート体制の充実化	長期	観光交流課	サイクリストおもてなし事業	益田市サイクリストサポート企業	81事業所	96事業所	104事業所	A	111事業所	A	新規登録事業所3/年を目標としていたが、目標値以上に新規登録増	継続してHP等で登録の呼びかけを実施
		○	19	手荷物搬送サービスの検討	短期	観光交流課	サイクリストおもてなし事業	市外からのサイクリストが、駅や空港に到着してそのまま走り出せるよう、ホテル等への手荷物搬送の検討	—	手荷物搬送サービスの検討	—	C	—	C	他自治体での実施内容から検討を予定していたが、需要が見込めず、検討に至っていない	市外からのサイクリストの声を聞きながら検討したい
		○	20	ガイドを兼ねたアテンドライダーの養成と活用の検討	短期	観光交流課	自転車活用推進事業	アテンドライダーの養成と活用の検討し、サイクリスト誘客環境の整備を行う	—	アテンドライダーの養成と活用の検討	—	C	—	C	他自治体での実施内容から検討を予定していたが、需要が見込めず、検討に至っていない	市外からのサイクリストの声を聞きながら検討したい
	12_地域巡り・交流を楽しめるサイクルツーリズムの創出	○	21	地域資源を活かした体験・交流型プログラム・ツアーの考案	短期	観光交流課	サイクリストおもてなし事業	地域の魅力を発信し、体験・交流型プログラム・ツアーの考案を行う	—	1回/年	・都市圏在住者対象のオンラインサイクリングイベントの実施（高津川都市交流協議会/益田、吉賀、津和野の3市町連携事業）	A	—	C	【R2年度】広域市町との連携により、コロナ禍でも実施可能な形のPRを実施 【R3年度】実施に至らず	体験・交流型プログラム・ツアーの開催について検討する
		○	22	まち乗りサイクリングの推進のための情報発信	長期	観光交流課	—	市民向けサイクリングイベントの開催により、まち乗りの楽しさを発信	5回	8回	1回	C	2回	C	コロナ禍によるイベント中止	コロナ収束次第、イベント実施予定
		○	[再掲]9_市民や来訪者の手軽な交通手段としてレンタサイクルのPR・利便性の向上	長期	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	13_イベント・大会の市民への定着	○	23	大会参加者だけでなく、市民も一緒に楽しめるイベントの併催	長期	観光交流課	—	取組みなし	—	—	—	C	—	C	コロナによるイベント中止	大会参加者だけでなく、市民も一緒に楽しめるイベントの併催の検討
		○	24	イベントや大会参加者の動向把握	長期	観光交流課	—	取組みなし	—	—	—	C	—	C	コロナによるイベント中止	イベントや大会参加者の動向把握
		○	25	国内外活躍している選手の招待や合宿誘致、交流の場の創出	短期	観光交流課	東京オリンピックパラリンピックキャンプ推進事業費	国内外活躍している選手の招待や合宿誘致、交流の場の創出	2回	選手の招待や合宿誘致、交流の場の創出について随時検討する	0回（コロナによる東京2020大会の延期のため）	C	アイルランドパラ代表事前キャンプ1回 小学生とアイルランドの交流 2回（オンライン）	A	目標としていた東京2020大会に向けた事前キャンプを誘致・実現	選手の招待や合宿誘致、交流の場の創出について検討する
	14_サイクリストを受け入れる市民のホスピタリティの向上	○	26	サイクリストに対する市民のおもてなしの意識醸成	長期	観光交流課	サイクリストおもてなし事業	益田市サイクリストサポート企業	81事業所	96事業所	104事業所	A	111事業所	A	新規登録事業所3/年を目標としていたが、目標値以上に新規登録増	継続してHP等で登録の呼びかけを実施
	15_効果的な情報発信	○	27	サイクリングマップの改訂	短期	観光交流課	サイクリストおもてなし事業	サイクリングマップを活用し、効果的な情報発信を行う	企業版ふるさと納税を活用しサイクリングマップを作成	必要に応じてサイクリングマップの情報更新を行う	サイクリングマップ改訂	A	英語版サイクリングマップを作成	A	サイクリングマップの情報更新、及びインバウンド向けに英語版サイクリングマップを作成し、目標値を達成	サイクリングマップを活用した効果的な情報発信の検討
			28	首都圏・関西圏からのサイクリストの誘客PR活動の推進	短期	観光交流課	サイクリストおもてなし事業	首都圏・関西圏からのサイクリストの誘客PR活動			・都市圏在住者対象のオンラインサイクリングイベントの実施（高津川都市交流協議会/益田、吉賀、津和野の3市町連携事業）	A	・サイクリスト向けイベントCYCLE MODE RIDE OSAKAへの出展（R4.3月）	A		

益田市自転車活用推進計画 施策進捗管理表

【実施期間】短期：計画期間（5年）内に実施を完了する施策 長期：計画期間をこえて長期的に取り組む施策

【進捗評価】A:順調に進捗（ほぼ計画通り） B:少し進捗 C:進捗なし

基本方針	施策の方向性	重点施策	通商	施策	実施期間	担当課 ※数値が把握できる課	目標指標達成のための根拠事業	取組内容	計画作成時値 【令和元年度】	目標値【令和6年度】	令和2年度		令和3年度		評価の理由	今後の対応等			
											実績値	進捗評価	実績値	進捗評価					
IV 交通安全の遵守・他者への配慮による	16_市民生活における自転車の安全な利用、安全利用教育の推進	○	29	インフルエンサーによるサイクリングツアーの実施	短期	観光交流課	サイクリストおもてなし事業	サイクリングツアー等の実施により「自転車のまち 益田」の魅力発信	本市の認知度の割合 首都圏 32% 関西圏 50%	※自転車展示会でのアンケート調査結果	本市の認知度の割合 首都圏 40% 関西圏 60%	※自転車展示会でのアンケート調査結果	・高津川流域の体験旅（飛行機輸送）情報発信のため、サイクリストのインフルエンサーである「おおやようこ」氏による現地ロケの実施。SNS、Youtube等で情報発信（高津川都市交流協議会/益田、吉賀、津和野の3市町連携事業）	A	予定	・Youtuber「けんたさん」によるIWA-IWAライドコースの情報発信（萩・石見空港利用促進協議会）	A	広域市町との連携により、コロナ禍でも実施可能な形でのPRを実施	広域連携、首都圏・関西圏へのPRを継続実施し、「自転車のまち 益田」の認知度向上を図る
			30	広域連携による一体的な情報発信	短期	観光交流課	サイクリストおもてなし事業	広域連携による一体的な情報発信	・Youtuber「けんたさん」による益田～津和野コースの情報発信（萩・石見空港利用促進協議会）	A	※岩国空港イン→萩・石見空港アウトのサイクリングコース	A							
			31	「自転車安全五則」による自転車乗用時の交通ルールの徹底	長期	危機管理課	自転車マナーアップ運動	自転車マナーアップモデル校指定制	年1校	5校（累計）	1校（益田東中学校）	A	2校（益田中学校、益田東高等学校）	A	新型コロナウイルス感染対策のうえ、交通安全イベント実施。	A	新型コロナウイルス感染対策のうえ、交通安全イベント実施。	各種交通安全イベントの機会等を通して、「自転車安全五則」による自転車乗用時の交通ルールの普及を図る。	
			32	保幼こ・小・中・高における各年齢段階での交通安全教室の推進	長期	学校教育課（教育委員会）	国の第2次学校安全の推進に関する計画「全ての学校において、学校教育活動全体を通じた安全教育※を実施する。」※安全教育＝交通安全教育、防災教育、防犯教育など	交通安全教室の開催	卒業までの受講回数 小学校：平均3.1回 中学校：平均1.1回	小学校：6回 中学校：3回	小学校：4.1回 中学校：0.9回	B	小学校：4.8回 中学校：0.9回	B	小中学校期においては、様々な安全教育を行う必要がある。近年は特に緊急的な対応として、感染症対策に関する教育に重点を置いたため、交通安全教室の全学年開催には至らなかった。	B	交通安全教育も必要に応じて適切に行っていく必要がある。引き続き各小中学校に働きかけていく。		
						子ども福祉課	—	保育及び放課後児童クラブにおいて、取組なし	—	—	保育及び放課後児童クラブにおいて、取組なし	C	保育及び放課後児童クラブにおいて、取組なし	C	・保育については、保護者が送り迎えをするため ・放課後児童クラブについては、学校から直接徒歩でクラブに行き、帰りは、保護者が迎えに来るため	C			
			33	家庭に対する交通安全教室の推進	長期	危機管理課	—	取組みなし	—	—	—	c	—	c	取組み実績がないため	c	交通対策団体と連携を図りながら、各種交通安全イベントの機会等を通して、家庭に対する交通安全教室の取組みを支援する。		
			34	企業への出前講座による交通安全教室の推進	長期	観光交流課	—	取組みなし	—	—	—	c	—	c	取組み実績がないため	c	関係機関と連携を図りながら、取り組みの支援		
			35	高齢者に対する交通安全教育の推進	長期	高齢者福祉課	—	高齢者向けの交通安全教育の推進	交通安全教室等 4回	—	0回	c	0回	c	令和元年度までは老人クラブの委託事業の中で交通安全教室等が実施されていたが、令和2年度以降は実績なし。	c	老人クラブ等の団体に対し、交通安全教室等の開催を働きかける。		
			36	障がい者に対する交通安全教育の推進	長期	障がい者福祉課	—	取組みなし	—	—	—	c	—	c	取組み実績がないため	c	まず令和4年度の自立支援協議会において、取組内容を協議する		
			37	自動車ドライバーに対する車道シェア・思いやり運転意識の啓発	長期	危機管理課	春・秋の全国交通安全運動	益田市交通安全ささえ愛2000	交通安全イベント 年2回	交通安全イベント 年2回	1回	A	2回	A	令和2年度春の交通安全イベントは新型コロナウイルス感染防止のため中止にしたが、以降については新型コロナウイルス感染症防止対策を行った上で、実施。	A	継続して同イベントを行い、自動車ドライバーに対する車道シェア・思いやり運転意識の啓発活動を実施。		
38	損害賠償責任保険を備える自転車保険等への加入促進	長期	危機管理課	—	取組みなし	—	—	—	c	—	c	取組み実績がないため	c	益田市ホームページや各種交通安全イベントの機会を活用し、損害賠償責任保険を備える自転車保険等への加入促進に向けた広報啓発活動を実施。					
			学校教育課	—	学校ごとにチラシの配布等による保護者への周知	—	—	実施校数 小学校：4校 中学校：9校	B	実施校数 小学校：4校 中学校：9校	C	通学において自転車を利用する中学校では全校で実施されているが、通学において自転車を利用することのない小学校では、全校実施には至らなかった。	C	引き続き各小中学校へ働きかけていく。					
			高齢者福祉課	—	取組みなし	—	—	—	—	C	—	C	実績なし	老人クラブ等の団体に対し、交通安全教室等の開催を働きかけ、その中で制度の周知を行うことが考えられる。					
			障がい者福祉課	—	取組みなし	—	—	—	—	C	—	C	実績なし	まず令和4年度の自立支援協議会において、取組内容を協議する					
子ども福祉課	—	保育及び放課後児童クラブにおいて、取組なし	—	—	—	—	—	C	—	C	・保育については、保護者が送り迎えをするため ・放課後児童クラブについては、学校から直接徒歩でクラブに行き、帰りは、保護者が迎えに来るため	C							

益田市自転車活用推進計画 施策進捗管理表

【実施期間】短期：計画期間（5年）内に実施を完了する施策 長期：計画期間をこえて長期的に取り組む施策

【進捗評価】A:順調に進捗（ほぼ計画通り） B:少し進捗 C:進捗なし

基本方針	施策の方向性	重点施策	通商	施策	実施期間	担当課 ※数値が把握できる課	目標指標達成のための根拠事業	取組内容	計画作成時値 【令和元年度】	目標値【令和6年度】	令和2年度		令和3年度		評価の理由	今後の対応等
											実績値	進捗評価	実績値	進捗評価		
				39 自転車点検の励行と整備方法に関する広報啓発	長期	危機管理課	—	取組みなし	—	—	—	c	—	C	取組み実績がないため	益田市ホームページや各種交通安全イベントの機会を活用し、自転車点検の励行と整備方法に関する広報啓発活動を実施。
						学校教育課	国の第2次学校安全の推進に関する計画「全ての学校において、学校教育活動全体を通じた安全教育※を実施する。」※安全教育=交通安全教育、防災教育、防犯教育など	学校ごとに、交通安全教室に併せた自転車の点検整備の実施、周知・啓発等	—	—	実施校数 小学校：11校 中学校：7校	B	実施校数 小学校：13校 中学校：6校	B	交通安全教室等で、点検整備や警察等による周知・啓発が行われている。	児童生徒の身の安全にもつながるものであるため、引き続き各小中学校に働きかけていく。
	17_自転車通行空間の安全点検の実施			40 通学路における安全点検の実施	長期	学校教育課	益田市教育委員会通学路交通安全プログラム	学校から出た通学路上の危険箇所について、学校関係者、道路管理者等と現地を点検し、対応について協議	—	—	合同点検実施 13か所	A	合同点検実施 21か所	A	対応可能な箇所については安全性が着実に改善されている。	学校による安全指導のより一層の充実が図られるよう、引き続き各小中学校に働きかけていく。
				41 サイクリングコースの合同安全点検の実施	長期	土木課、観光交流課	—	サイクリングコースの合同安全点検の実施	道路管理者によるの通常点検を実施	サイクリングコースの合同安全点検の実施の検討	道路管理者によるの通常点検を実施	c	道路管理者によるの通常点検を実施	c	サイクリングコースに特化したものの実績がないため。	道路管理者と担当課によるサイクリングコースの合同点検の実施を検討
	18_自転車の交通安全教育に係る人材の育成			42 自転車の交通安全教室に係る人材の育成	長期	危機管理課	—	取組みなし	—	—	—	c	—	c	取組み実績がないため	関係機関（益田警察署等）と連携のうえ、交通指導員を対象に育成を検討
	19_損害賠償責任保険への加入義務条例化の検討			43 損害賠償責任保険への加入義務の条例化の検討	長期	観光交流課	—	取組みなし	—	損害賠償責任保険への加入義務条例化の検討	—	c	—	c	取組み実績がないため	損害賠償責任保険への加入義務条例化の検討